

文 化 財

1 文化財保護事業

(1) 文化財保護審議会

ア 京丹後市文化財保護審議会

第1回 平成21年5月27日(水) 大宮庁舎4階第2・3会議室

平成21年度文化財関係事業について、京丹後市指定文化財について(審議)
その他(ジオパークについて)

第2回 平成21年7月1日(水) 現地確認

京丹後市新指定文化財について

第3回 平成21年12月16日(水) 大宮庁舎4階第2・3会議室

平成21年度文化財関連事業について、京丹後市新指定文化財について、
その他(視察研修について)

第4回 平成22年3月12日(金) アグリセンター大宮

平成21年度京丹後市新指定文化財について(答申)
その他(2年間を振り返って)

イ 両丹文化財保護連絡協議会への参加

平成21年10月6日(火) 福知山市大江町総合会館

ウ 平成21年度京丹後市文化財保護審議委員視察研修の開催

平成21年9月16日(水)～17日(木)

和歌山県立博物館、紀州天満宮、紀州東照宮、海南市教育委員会
長保寺、善福院、藤白神社

エ 委員活動記録の作成

2年間の審議会委員の研究活動の記録として『委員活動研究記録』第一集 を作成した。



第2回審議会（現地調査）のようす



平成21年度文化財保護審議委員視察研修状況

委員活動研究記録
第一集

京丹後市教育委員会
京丹後市文化財保護審議会

委員活動研究記録第一集

（2）指定文化財等管理事業

ア 京丹後市指定文化財等補助金

交付件数 14件 交付金額 合計 2,181,000円

京丹後市内の市指定文化財や未指定文化財について、建造物の修理や保全施設の整備、民俗芸能等の道具、衣装の修繕などの事業に対して補助金の交付を行った。

イ 史跡等維持管理

件数 16件 金額 1,089,708円

市内に所在する国・府・市指定史跡等について、草刈り等の維持管理を実施した。

(3) 市史編さん事業

ア 市史編さん委員会

第7回 佛教大学 8号館会議室

資料編『峯山藩関係史料集』の概要について、平成21年度予算について、これまでの進捗状況と今後の予定について、その他

第8回 龍谷大学 大宮学舎 西齋大会議室

平成21年度事業報告、平成22年度予算案と事業計画、
本文編『図説京丹後市の歴史』の進め方について

イ 市史編さん資料調査

日程	内容	場所
4月2日・3日	絵画資料調査	宝泉寺・慶徳院
4月18日	近世史料調査	京都府立総合資料館
4月25日～27日	民俗調査	弥栄町・丹後町内
4月29日～5月3日	社寺建築調査	弥栄町内
5月20日・21日	近世史料調査	大宮庁舎・丹後郷土資料館
5月23日・24日	地質調査	京丹後市内
5月29日	中世史料調査	伊勢市
6月4日	自然・地理専門部会	佛教大学
6月12日・13日	中世史料調査	市内各所
6月13日・14日	近代史料調査	弥栄地域公民館
6月18日・19日	地質調査	京丹後市内
6月18日	民俗原稿読み合せ会	帝塚山大学
7月2日・3日	自然・地理専門部調査	京丹後市内
7月12日	編さん委員会	京都市内
7月19日・20日	近世史料調査	大宮庁舎
7月22日～24日	近代史料調査	弥栄地域公民館
7月27日・28日	自然・地理専門部調査	京丹後市内

日程	内容	場所
8月18日・19日	近世史料調査	大宮庁舎
8月25日	近代史料調査	弥栄地域公民館
8月27日・28日	本文編調査	市内各所
8月31日～9月3日	社寺建築調査	弥栄町内
9月3日～5日	民俗調査	弥栄町内
9月7日・8日	絵画資料調査	市内各所
9月13日～15日	仏像調査	市内各所
10月3日・4日	自然・地理専門部会	京丹後市内
10月11日	船木踊り子調査	弥栄町船木
10月18日・19日	近代史料調査	弥栄地域公民館
10月29日～31日	社寺建築調査	弥栄町内
10月30日	災害編調査	峰山町内
11月13日	中世勉強会	京都府立大学
12月5日～7日	民俗調査	弥栄町内
12月15日	考古編原稿読みあわせ会	大阪大学
12月25日・26日	植村先生調査	市内各所
2月3日	伝承専門部会	京都市内
2月12日	社寺建築調査	弥栄町内
3月6日・7日	植村先生調査	市内各所
3月9日・10日	近代史料調査	弥栄地域公民館
3月15日・16日	仏像調査	隣海寺・大宮売神社・円頓寺
3月25日	市史編さん委員会	龍谷大学

ウ 『京丹後市久美浜湾の古環境と形成過程－阿蘇海・天橋立との比較－』の刊行

自然・地理部会の調査の中で実施した久美浜湾ボーリング調査の報告書を刊行した。

エ 資料編「京丹後市の考古資料」、「峯山藩関係史料集」の刊行

資料編「京丹後市の考古資料」 900冊（1冊2,000円で販売）

資料編「峯山藩関係史料集」 500冊（1冊1,500円で販売）



「京丹後市の考古資料」

「峯山藩関係史料集」

(4) 埋蔵文化財

ア 埋蔵文化財発掘の届出件数 13 件

イ 埋蔵文化財発掘調査・立会調査

発掘調査 4 件（文化財保護課実施分 3 件、京都府教育委員会実施分 1 件）

立会調査 5 件（文化財保護課実施分 4 件、京都府教育委員会実施分 1 件）

慎重工事指示 1 件

ウ 調査報告書の刊行

『網野銚子山古墳範囲確認調査報告書（京都府京丹後市文化財調査報告書第 4 集）』

平成 22 年 3 月 30 日刊行

平成 19～21 年度に実施した網野銚子山古墳範囲確認調査の報告書

エ 松山遺跡発掘調査

(ア) 所在地 京丹後市大宮町森本小字松山ほか

(イ) 概要 ほ場整備事業に先立つ遺跡の範囲確認調査として試掘調査を実施した。

(ウ) 現地調査期間 平成 21 年 5 月 28 日～5 月 29 日（第 1 次調査）

平成 21 年 9 月 24 日～10 月 16 日（第 2 次調査）

(エ) 調査成果 a 第 1 次調査地からは、遺構が検出されなかった。

b 第 2 次調査地からは、古墳時代から飛鳥時代にかけての溝状遺構・柱穴状遺構・土壇状遺構の存在を確認した。

オ 網野銚子山古墳（国指定史跡）範囲確認調査

(ア) 所在地 京丹後市網野町網野小字宮家、林

(イ) 概要

国指定史跡・銚子山古墳、第一、第二古墳（網野銚子山古墳、小銚子古墳、伝寛平法皇陵古墳）および周辺地区の史跡整備に向け、保護範囲の再検討を視野に入れた範囲確認のための発掘調査として、陪塚である小銚子古墳および伝寛平法皇陵古墳周辺の2ヶ所を調査した（3ヵ年計画の3年目）。

また、あわせて昨年度調査トレンチ出土遺物の整理作業も実施し、3ヵ年の調査の集大成となる報告書を発刊した。

(ウ) 現地調査期間 平成21年7月13日～平成22年9月11日

(エ) 調査成果

- a 伝寛平法皇陵古墳、小銚子古墳周辺のそれぞれ1ヶ所ずつ、計2ヶ所のトレンチで調査を実施。トレンチ調査では、後世の攪乱を受けているが、古墳築造段階での土地改変と見られる地山削り出し部分を検出した。
- b 検出された地山削り出し部分は地面の傾斜角がほぼ同一の角度であった。位置関係から、これは古墳の周辺を削り出しにより整えたものが残存していたものである可能性が高い。
- c これにより、古墳築造に伴い、陪塚基底部のさらに外側にも削り出し造成を行う部分があること、またその範囲が当初想定していたものより若干広がることが判明した。
- d あわせて、昨年度調査トレンチから出土した埴輪片の整理作業により、墳丘段築テラスに樹立されていた円筒埴輪3体をほぼ完形に復元することができた。網野銚子山古墳に樹立されていた円筒埴輪が完形に復元できたのは初めてである。



現地説明会（平成21年8月29日実施）



復元された円筒埴輪

(5) 普及啓発事業

ア 第38回丹後震災記念展

平成22年3月5日(金)～7日(日) 会場：丹後震災記念館 入場者 171名

昭和2(1927)年3月7日に発生した北丹後地震(丹後震災)に関する展示。



第38回丹後震災記念展展示会場風景

イ 稲葉家展示活用事業

「豪商稲葉本家」内蔵(南宝蔵)を活用して展示を行った。また稲葉家文書収納のため、北宝蔵の改修工事を実施したほか、稲葉家写真資料の整理を実施した。

(ア) コーナー展示「近代の夜明けと稲葉家 ～明治維新前後の稲葉家～」

平成21年4月25日(土)～7月12日(日)

(イ) コーナー展示「稲葉喬 ～昭和前期の稲葉家～」

平成21年7月18日(土)～9月13日(日)

(ウ) 秋期企画展示「稲葉家の近世1～六代喜兵衛から八代市郎右衛門～」

平成21年11月3日(火)～12月25日(日)

(エ) コーナー展示「結城素明と稲葉家」

平成22年1月9日(土)～3月28日(日)

あわせて結城素明「極彩色草花之図金屏風」を本家寝室にて展示

(オ) 稲葉本家御殿雛の展示 (本家寝室)

平成22年2月27日(土)～3月31日(火)

ウ 「京丹後史博士」育成講座

数多くの歴史資料を有する京丹後市の歴史について、資料を見て・触れて・読む機会を作り、郷土の歴史を体感してもらい、資料から歴史を読み取る方法を学ぶことを目的とした。併せて郷土愛を育み、文化財を通して人の交流と地域活性への原動力となる地域リーダーやサポーター作りを目的として講座を実施した。

講座は文化財保護課職員を講師として行い、本年度は現地見学も実施した。

Aブロック 会場 弥栄庁舎大会議室・太田南～黒銚～ニゴレ～遠所

	日 時	内 容	受講者数
A 1	9月11日(金)	弥栄町古墳時代の変遷	23人
A 2	9月12日(土)	古墳時代の弥栄町(現地見学)	15人

Bブロック 会場 峰山地域公民館講義室会場・網野～金刀比羅～大宮売～大野

	日 時	内 容	受講者数
B 1	9月25日(金)	京丹後市の近代神社建築	22人
B 2	9月26日(土)	近代神社建築をめぐる(現地見学)	24人

Cブロック 会場 峰山地域公民館講義室・樋口～小池～震災記念館

	日 時	内 容	受講者数
C 1	10月9日(金)	震災記念館の建築とその後の展開	16人
C 2	10月12日(月)	北丹後地震と震災記念館(現地見学)	14人

Dブロック 会場 如意寺～泰平寺～円頓寺

	日 時	内 容	受講者数
D 1	10月24日(土)	久美浜の古仏を訪ねる(現地見学)	22人

Eブロック 会場 丹後古代の里資料館

	日 時	内 容	受講者数
E 1	11月13日(金)	銚子山の埴輪一発掘調査出土資料から一	12人

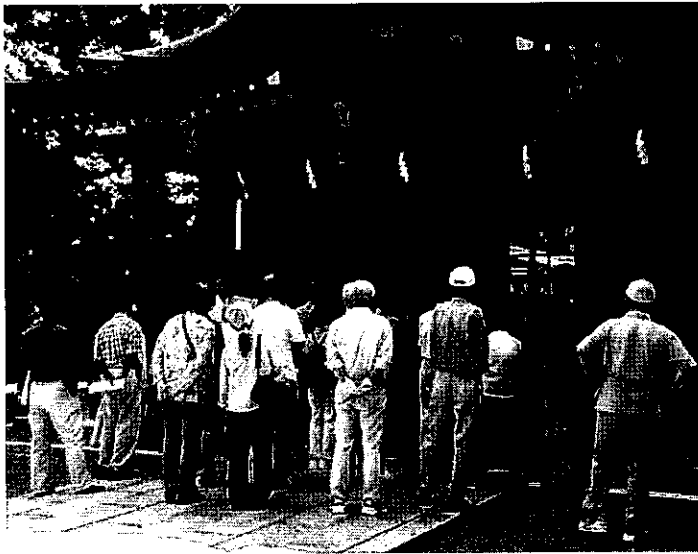
Fブロック 古代の里～竹野神社～立岩～等楽寺

	日 時	内 容	受講者数
F 1	11月14日(土)	鬼退治ゆかりの地を訪ねて(現地見学)	11人

平成21年度延べ受講者数 159名

また講座受講数によって「文化財博士」等の認定を行った

「京丹後史講師」(15 講座受講) 1 名 「京丹後史学士」(25 講座受講) 2 名



現地見学のようす (右: B 2 講座、左: C 2 講座)

エ 京丹後市史刊行記念シンポジウム

「考古資料かく語りき～遺跡と出土遺物から見る京丹後市の歴史～」

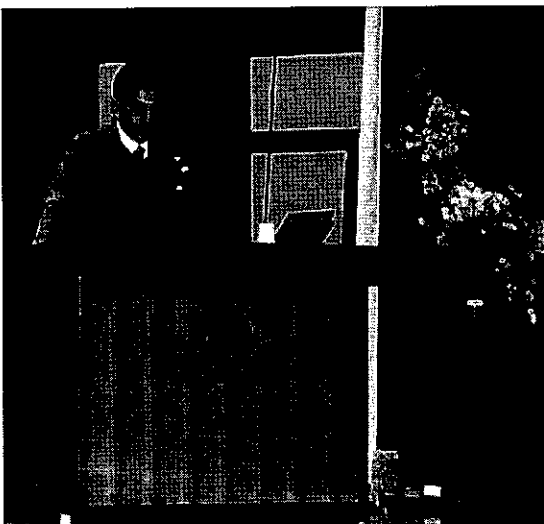
平成 22 年 3 月 22 日 (月) 13:30～16:45 アグリセンター大宮 参加者 150 名

講演「交易と技術の国、古代京丹後」講師 大阪大学 福永伸哉

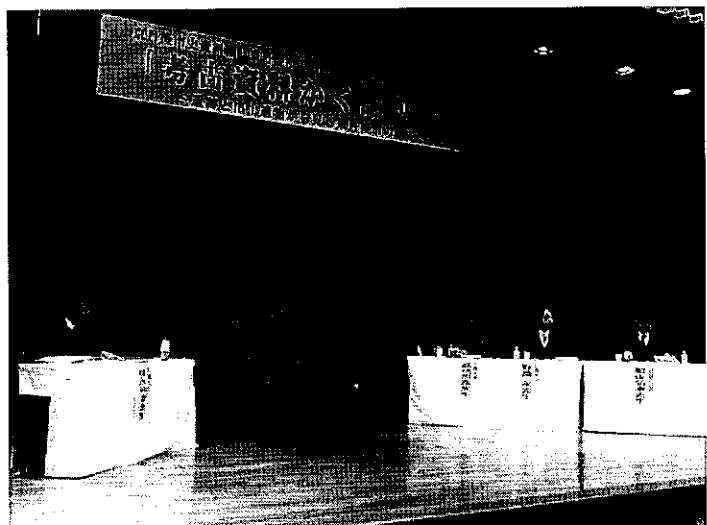
リレートーク「京丹後市史はこう読む」

講師 大阪大学 福永伸哉、大阪大学 高橋照彦、広島大学 野島 永

京都府埋蔵文化財調査研究センター 肥後弘幸



福永先生の講演



リレートーク

オ 文化財セミナー

丹後の輝かしい歴史をひも解き、歴史の学習を通じて、京丹後市の歴史を学び、私たちの郷土に対する愛着と誇り、郷土愛を深めることを目的に文化財セミナーを開催した。

第1回 京丹後市文化財セミナー

平成22年3月13日(土) 13:30~15:30 丹後地域公民館 参加者56名

講座「弥生時代の陶けん(土笛)について」

講師 京都府立丹後郷土資料館 奥村清一郎

陶けんコンサート「弥生の音をたずねて」 サウンドアーティスト 鈴木 昭男

カ 講師派遣等

日 時	内 容
4月15日	網野郷土文化保存会総会記念講演会
4月30日	田村小学校6年生社会科フィールド「網野銚子山古墳」
5月~10月	網野町郷土文化保存会『丹哥府志』を読む会
5月18日	溝谷小学校6年生総合的な学習の時間「郷土の歴史を考える」
5月21日	間人小学校5年生総合的な学習の時間「間人の昔」
5月21日	郷小学校6年生社会科学習「古墳の学習」
5月30日	京都府退職女性校長会丹後支部研修会「丹後七姫にまつわる伝説について」
5月30日	丹波の文化を伝承する会「『縁城寺縁起』と僧善無畏伝承」
6月12日	退職教員互助組合京丹後支部研修「網野町の文化財について」
6月21日	仲禅寺区仁王尊像昭和の改修三十年講師
6月23日	吉原小学校6年生総合的な学習の時間「歴史を体験しよう」
6月25日	鳥取小学校6年生総合的な学習の時間「地域の歴史を知ろう」
7月3日	峰山中学校1年生総合的な学習の時間
7月4日	京極会勉強会
7月6日	豊栄小学校3年生総合的な学習の時間「とよさかのたからものを見つけよう」
7月7日	島津小学校6年生社会科フィールドワーク
8月4日	京丹後市小学校研究会社会科部フィールド研修会

日 時	内 容
8月5日	丹後地域公民館親子陶芸教室
8月25日	竹野小学校校内研修「地域の歴史についてのフィールドワーク」
9月17日	NPO法人全国まちづくりサポートセンター丹後支所古代丹後塾現地見学会
9月25日	第3回「北京都丹後ふるさと検定」セミナー
9月27日	丹波の文化を伝承する会「網野町の古墳巡り」
10月1日	京丹後市立図書館職員研修会
10月17日	新山地区公民館「ちびっこ歴史探見たい」
10月16日	佐濃小学校丹後震災記念館見学
11月16日	網野町郷土文化保存会古文書を読む会フィールドワーク
12月18日	京都府退職女性校長会研修会「丹後七姫について」
2月19日	鳥取県立鳥取東高等学校地歴公民科稲葉家所蔵資料見学
2月20日	京都府立丹後郷土資料館第25回古文書講習会
2月23日	京都歴史災害史料研究会丹後震災記念館見学
3月6日	田庭会講演会「一色氏について」
3月14日	是安区「麻呂子親王御廟についての講話」
3月11日	KBS京都「森谷威夫のお世話になります」電話取材
3月14日	須田区「須田古代の丘公園イベント」講演会
3月25日	峰山地域公民館防災学習キャンプ講義「丹後大震災について」

小中学校の授業や地域・団体等からの派遣申請を受けて、職員を派遣した。

キ 合併5周年記念事業

京丹後市市制5周年を記念して、11月21日（土）午後1時30分より丹後文化会館において記念式典に併せて記念ステージを開催した。この記念ステージの実施にあたっては、京丹後市合併5周年記念ステージ運営実行委員会（委員長 片山茂）を組織して内容について協議検討した。

記念ステージの構成は、京丹後市の四季折々の美しい自然、「丹後王国」とも称される史跡・考古資料、多くの祭りや郷土芸能、合併までの歩み、京丹後市で生きる人々を綴った映像を製作し上映した。また、京丹後市の出身者や縁のある芸術家の舞台発表を行

った。内容は、太鼓、陶けん演奏、そしてコーラスグループ、少年少女合唱団による制定された「京丹後市の歌」の合唱である。当日のプログラムは以下の通りである。

- 1 和太鼓演奏（飛龍天衆）
 - 2 映像上映（『美しき京丹後市』『古代丹波の繁栄』）、
電子オルガン演奏（吉岡妙子さん）
 - 3 アナラポス、陶けん演奏（鈴木昭男氏）
 - 4 映像上映（『遠き丹後の記憶』）、電子オルガン演奏（吉岡妙子さん）
 - 5 テノール独唱（松本晃氏）
 - 6 映像上映（『京丹後の心』『京丹後 四季の詩』）電子オルガン演奏（吉岡妙子さん）
 - 7 吹奏楽演奏及び『京丹後市の歌』合唱（木曜コーラス、コール・アカシア、コーラス弥栄野、峰山少年少女合唱団、大宮児童合唱団、久美浜児童合唱団、丹後吹奏楽団）
- 5周年記念ステージに合わせて撮影し製作した映像は、資料として活用するため、DVDを作成して市内の小中学校や図書館、資料館に配布した。



5周年記念ステージのようす（京丹後市の歌合唱と鈴木昭男さんの演奏）

（6）収蔵資料整理事業

収蔵写真整理事業

各町で保管されていた古い写真を整理し、活用するために、写真のデジタルデータ化を実施。昭和30年代以降の風景や出来事の写真を中心に、本年度は、8,059点の写真のスキヤニングを終了した。

実施期間 平成21年5～12月

2 文化財保護関係施設

(1) 京丹後市デジタルミュージアム

京丹後市内の指定文化財を紹介するHPを開設している。

URL : <http://www.city.kyotango.kyoto.jp/service/digitalmuseum/siteibunkazai/index.html>

(2) 琴引浜鳴き砂文化館

所在地：〒627-3112 京丹後市網野町掛津 56 TEL・FAX 72-5511

URL : <http://www.nakisuna.jp/>

入館料：大人 300 円・子供 100 円（団体 15 名以上大人 200 円）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌日）・年末年始

平成 13 年 10 月オープン。木造 2 階建。財団法人日本ナショナルトラストが建設した施設で、18 年度からは指定管理制度を導入し掛津区が管理運営を行っている。琴引浜の鳴き砂の保全及び保護啓発活動、自然環境学習の援助並びに促進を図っている。

平成 21 年度入館者数 13,443 名。

(3) 丹後古代の里資料館

所在地：〒627-0228 京丹後市丹後町宮 108 TEL 75-2431 FAX 75-2432

URL : <http://www.city.kyotango.kyoto.jp/museum/kodainosato/>

入館料：大人 300 円・子供 150 円（団体 15 名以上：大人 200 円・子供 100 円）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌日）・年末年始

平成 6 年 7 月オープン。鉄筋コンクリート 2 階建て（瓦葺）。常設展示室 1・企画展示室 1。公園に竪穴住居 3 棟・高床倉庫 1 棟（木造）を復元。陶芸・勾玉作り・火起し体験が可能。京丹後市域の歴史・考古資料を中心とした展示・収集・保管を行っている。

平成 21 年度は、消防設備修繕と竪穴住居入口部分の修理を実施した。また常設展示の一部入替を実施している。

ア 平成 21 年度事業

平成 21 年度 入館者数 4,045 名

(ア) コーナー展示 1 「縄文時代の京丹後市」

平成 21 年 4 月 29 日（水）～6 月 28 日（日） 入館者 954 名

(イ) コーナー展示 2 「弥生時代の京丹後市」

平成 21 年 7 月 1 日 (水) ~ 9 月 27 日 (日) 入館者 1,252 名

(ウ) コーナー展示 3 「古墳時代の京丹後市 1」

平成 21 年 9 月 30 日 (水) ~ 11 月 29 日 (日) 入館者 937 名

(エ) コーナー展示 4 「古墳時代の京丹後市 2」

平成 21 年 12 月 2 日 (水) ~ 平成 22 年 1 月 31 日 (日) 入館者 201 名

(オ) 市制 5 周年記念・京丹後市史資料編刊行記念

丹後古代の里資料館平成 21 年度特別展示 『丹後王国』の精華

平成 22 年 2 月 4 日 (木) ~ 3 月 22 日 (月) 入館者 373 名

ミュージアムトーク (展示解説) 2 月 20 日 (土) 参加者 16 名

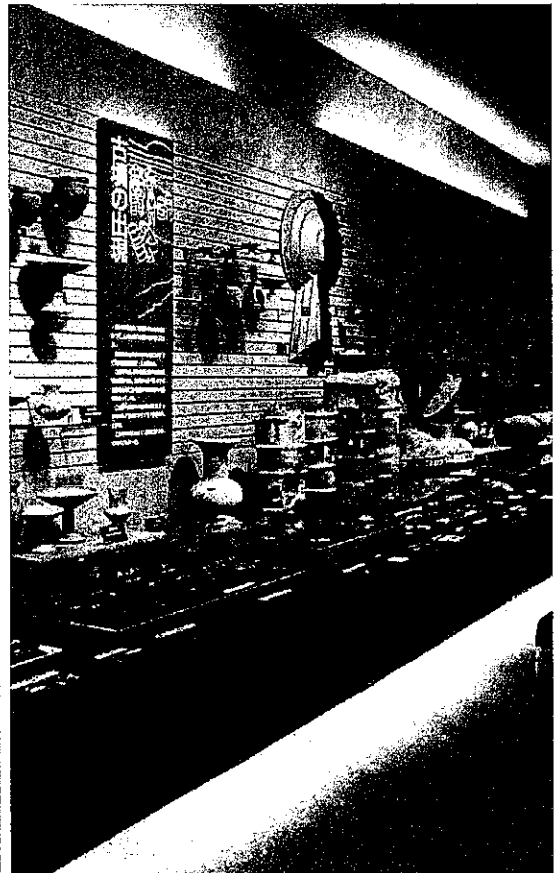
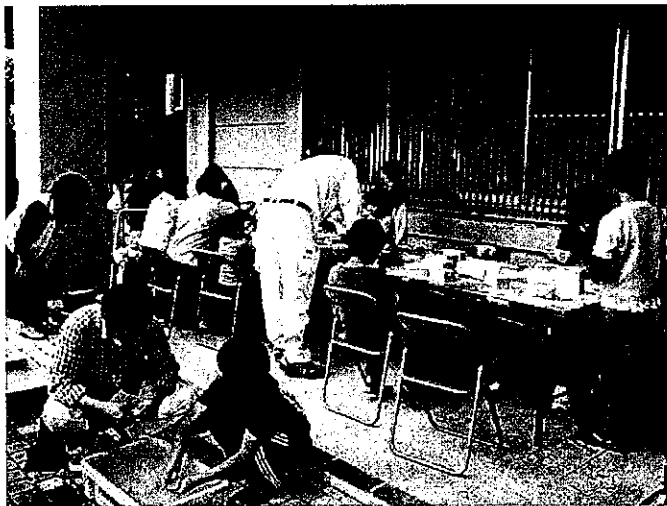
ミュージアムトーク (展示解説) 2 月 27 日 (土) 参加者 16 名

ミュージアムトーク (展示解説) 3 月 20 日 (土) 参加者 10 名

(カ) 古代の里まつり 平成 21 年 11 月 1 日 (日) 入館者 241 名

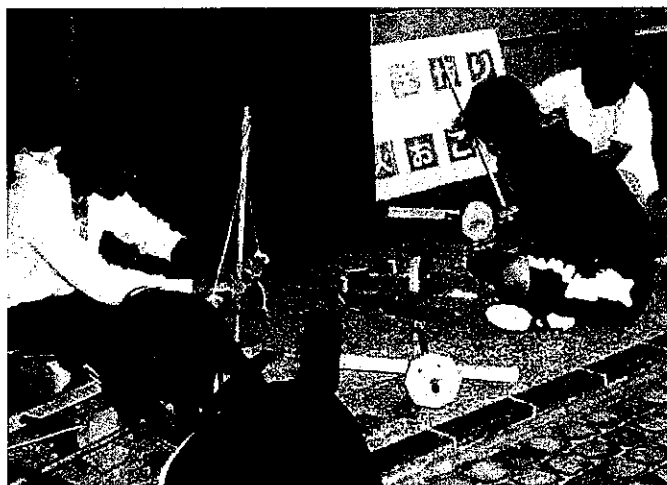
石人形作り体験、勾玉づくり体験、民話紙芝居、火おこし体験、民話紙芝居

イ 減免申請 件数 21 件



常設展示室

古代の里まつりのようす



(4) 網野郷土資料館

所在地：〒629-3241 京丹後市網野町木津 823 TEL・FAX 74-0044

URL：<http://www.city.kyotango.kyoto.jp/museum/aminokyodoshiryokan/index.htm>

入館料：大人 200 円・子供 100 円（団体 15 名以上大人 120 円・子供 60 円）

開館日：火・土・日曜日（ただし年末年始は休館）

旧木津小学校の校舎を利用して昭和 52 年オープン。木造 2 階建（瓦葺）。小学校の教室を転用した展示室。京丹後市域の民俗資料を中心に古文書・古書籍等の展示・収集・保管を行っている。平成 21 年度は、展示室床修繕および床下白あり防除を実施した。

ア 平成 21 年度事業

平成 21 年度入館者数 985 名

(ア) 春季企画展示「食と道具」

平成 21 年 4 月 4 日（土）～5 月 31 日（日） 入館者 36 名

(イ) 夏季企画展示「商いと道具」

平成 21 年 6 月 2 日（火）～8 月 30 日（日） 入館者 158 名

(ウ) 秋季前期企画展示「虫干し」

平成 21 年 9 月 5 日（土）～9 月 27 日（日） 入館者 159 名

(エ) 秋季後期企画展示「むかしの生活道具」

平成 21 年 10 月 6 日（火）～11 月 15 日（日） 入館者 464 名

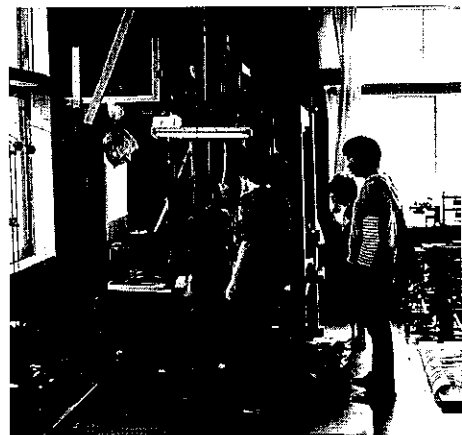
(オ) 新春企画展「ひな人形」

平成 22 年 2 月 16 日（火）～3 月 30 日（火） 入館者 41 名

(カ) 網野郷土資料館まつり 平成 21 年 11 月 1 日（日） 入館者数 175 名

石人形作り体験、勾玉づくり体験、織りの実演

イ 減免申請 件数 17 件



網野郷土資料館まつりのようす

3 指定文化財

(1) 京丹後市内指定・登録文化財件数一覧表

指定区分	国指定	国登録	府指定	府登録	市指定	合計
建造物	2	5	4	8	11	30
絵画			3		15	18
彫刻	2		2		10	14
工芸品	1		4		11	16
書跡					3	3
古文書			1	1	1	3
歴史資料			1			1
考古資料	3		5	1	9	18
無形民俗文化財			3	8	3	14
有形民俗文化財					1	1
史跡	5		6		16	27
遺跡					1	1
名勝	1		1		1	3
天然記念物	2		1		10	13
文化財環境保全地区			3		2	5
文化的景観			1			1
合計	16	5	35	18	94	168

(国指定考古資料1件・府指定考古資料2件は、京丹後市内出土であるが、京都府所蔵)

(2) 新指定文化財紹介

平成21年度は、市指定有形文化財彫刻として、市内にある仏像を新たに2点答申した。

京都府指定文化財として、赤坂今井墳墓出土品一括が指定された。

また、国の登録文化財として、網野神社本殿ほか8棟が登録された。

ア 市指定文化財

(ア) 木造阿弥陀如来坐像

所在地 京丹後市峰山町矢田 1470

所有 宗教法人 長安寺

員数 1 軀

文化財種別 彫刻

長安寺は、慶長7年「丹州中郡矢田村御検地帳」にその名が記されており、その頃には存在していたと考えられている。本像は長安寺に伝えられたものでなく、他寺院に安置されたものが移されたとされている。横から見た姿勢や体型、柔らかな浅い衣文など平安時代後期、12世紀頃の特徴を示している。しかし、膝のあたりは彫りが深く作風の違いがあり、江戸時代の修理で補われたものと推測できる。同様に頭部も頬の膨らんだ円満な造りは平安時代後期の特徴だが、目鼻口や耳の彫りは硬く、修理時に彫りなおしを受けていると思われる。総体として、江戸時代の修理によって一部改変を受けているものの、平安時代後期に遡る作例であり、大きさも稀有なものであり、その価値は高いものといえる。



(イ) 木造伝地藏菩薩立像

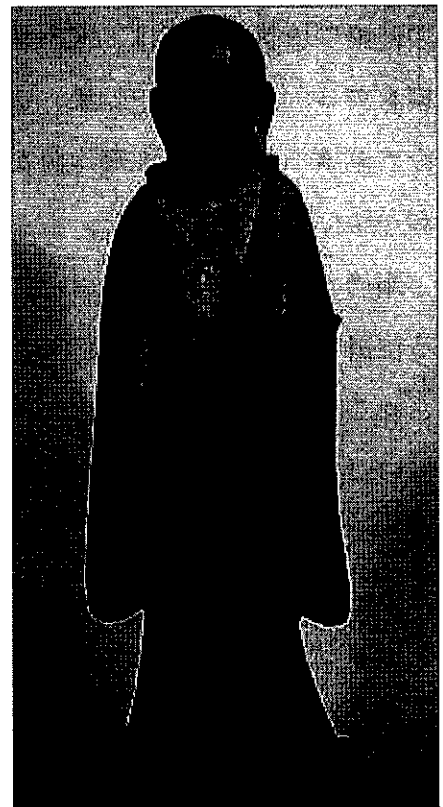
所在地 京丹後市久美浜町壱分 901

所有 宗教法人 泰平寺

員数 1 軀

文化財種別 彫刻

泰平寺の草創は平安時代後期頃といわれているが詳細は定かではない。寺伝によれば、元応元年(1319)に教王護国寺の恵光法印により再興されたという。本像は現在泰平寺本堂に奉られている。総じて温雅な作風で、衣文線をほとんど刻出せず、大きく面的な抑揚のみで表現する点はこの像の大きな特徴といえる。平安時代後期頃の作と考えられ、地藏菩薩ではなく僧形神像の可能性が高いと指摘されている。保存状態もよく京丹後市内のみならず近隣でも類例を見ない像として貴重なものといえる。



イ 京都府指定文化財

赤坂今井墳墓出土品

所在地 京丹後市峰山町 889 番地
(丹後古代の里資料館保管)

所有者 京丹後市

員数 一括

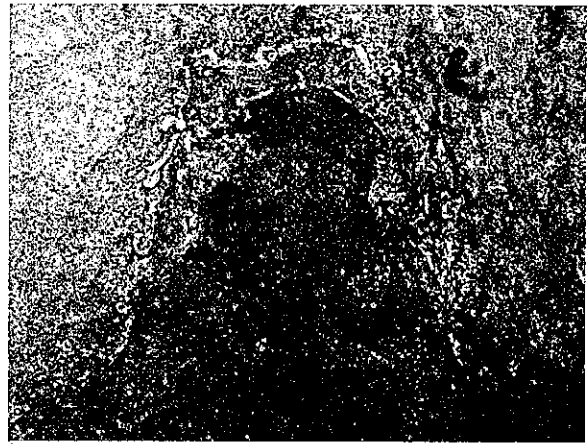
文化財種別 考古資料

内訳 玉類(頭飾り・垂飾具)一括

(勾玉 30 個以上、管玉 182 個以上)、土器残欠共一括、鉄剣 1 点、鉄刀 1 点、
鉄ヤリガンナ 7 点、鉄鏃 1 点、石杵 1 点

時代 弥生時代

赤坂今井墳墓(国史跡)は、弥生時代終末期(2世紀末～3世紀初頭)に築造された大型墳墓である。東西約 36m、南北約 39m の方形土壇状の墳丘を築き、この時期の墳墓としては、国内最大級の規模を誇る。発掘調査の結果、中心埋葬施設の墓壙上及び周辺埋葬施設から副葬品・葬送関係遺物が出土した。



頭飾り・垂飾具



赤坂今井墳墓出土土器

頭飾りと垂飾具は、墳頂部に作られた第 4 埋葬に副葬されていた。被葬者の頭にあたる位置から検出され、頭飾り、垂飾具共に装着したままで被葬者は葬られたものと推定される。頭飾りは、外・中・内の三連の玉類から構成され、材質は碧玉製とガラス製のものがある。鉄製品類は、第 4 埋葬、第 7 周辺埋葬、第 8 周辺埋葬、第 19 周辺埋葬からヤリガンナ、鉄剣、鉄刀、鉄鏃が出土した。ヤリガンナは各埋葬施設から一点ずつ出土するため、葬送儀礼にともなう祭具として副葬したものと推定される。

土器類は、壺、高坏、器台、鉢、甕等がある。多くは小片に破碎された後に、墓坑上面にばらまいたものである。出土した土器のなかには、東海地域からの影響が認められるものが含まれる。また、石杵は、朱を精製するために使用したものと推定される。

これらの遺物からは、丹後地域の弥生時代終末期葬送儀礼の多様な姿が明らかになった。頭飾り・垂飾具については、当時の具体的な装着方法まで判明する貴重な出土例と

して、高い評価が与えられている。加えて、出土した玉類・鉄製品・土器類は、他地域との広い交易を示すもので、供献土器類は、丹後地域の弥生時代後期後半の土器様相を示す。これらのことから、赤坂今井墳墓の被葬者群は、交易を背景に丹後地域を中心に広く支配圏を形成した首長とその一族と考えられる。つまり、赤坂今井墳墓出土品は、弥生時代終末期の丹後地域社会の様相を明らかにする、極めて重要な遺物である。

ウ 国登録文化財

網野神社本殿、拝殿、渡廊、神饌所、透塀、
蠶織神社本殿、手水舎、石鳥居

所在地 京丹後市網野町網野 789

所有者 宗教法人 網野神社

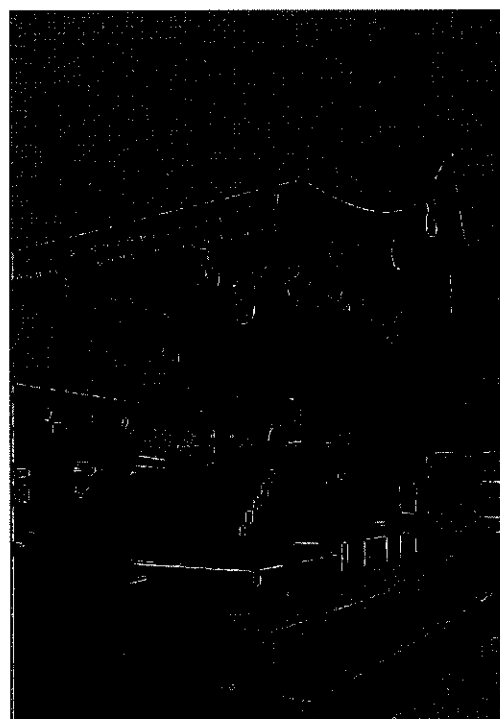
員数 8棟

境内中央に、横長の拝殿、渡廊（わたろう）、本殿が一直線に並び建つ。本殿と拝殿は奈良県技師の岸熊吉の設計になり、中世風の絵様細部を採り入れつつ、華やかな意匠でまとめている。

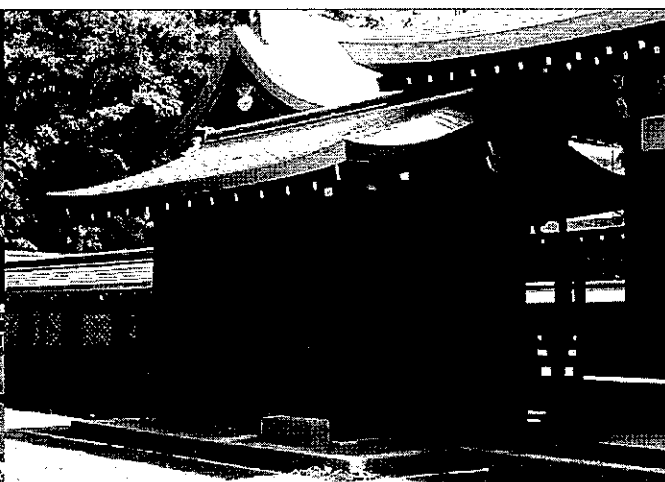
拝殿脇には優美な屋根の神饌所（しんせんしょ）が建ち、後方に延びる透塀（すきべい）が本殿まわりを結界する。このほか境内には、織物と養蚕の神を祀る蠶織（こおり）神社本殿や手水舎、石鳥居が配置され、豊かな社叢（しゃそう）景観を形成している。

網野神社本殿

市内では、旧口大野村役場庁舎1棟、稲葉家住宅・長屋門・南宝蔵・北宝蔵の4棟に続き3件目の国登録文化財となった。



網野神社拝殿



網野神社神饌所

